

令和元年度第3回江別市学校給食会理事会議事録

日 時	令和元年11月19日(火) 16時00分～16時34分
場 所	江別市立学校給食センター 研修会議室
出席理事	中村理事長、萬副理事長、中村(和)理事、波津理事、遠藤(光)理事、渡辺理事、遠藤(絵)理事、松下理事、伊藤(篤)理事、伊藤(祥)理事(10名)
欠席理事	鈴木理事(1名)
事務局	鈴木事務局長、森山事務局次長、佐藤事務局員、木村事務局員、吉田事務局員(5名)
関係部局	伊藤教育部次長
傍聴者	1名
議 題	令和2年度江別市学校給食費単価の改正について
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議案第1号 令和2年度江別市学校給食費単価の改定について <ul style="list-style-type: none"> 1 給食改定の経緯 2 給食費改定額の試算 3 改定後の給食単価 別紙資料 <ul style="list-style-type: none"> ・ 別紙1 石狩管内地元産主要野菜使用率 ・ 別紙2 給食費改定状況(北海道内人口5万人以上の市) ・ 別紙3 残食率の推移(平成25年度-平成30年度) <p>※前回理事会配布資料</p>

▼会議内容

○司会：鈴木事務局長

皆さま、こんにちは。

定刻になりましたので、『令和元年度第3回江別市学校給食会理事会』を始めさせていただきます。本日は、お忙しい中、当理事会にお集まりいただきましてありがとうございます。

事務局長の江別市学校給食センター長 鈴木でございます。

江別市学校給食会は、理事11名をもって組織されており、市立小・中学校における学校給食事業の円滑な運営を図ることを目的としております。

本日の議事につきましては、審議事項、「議案第1号 令和2年度江別市学校給食費単価の改定について」となっております。

10月24日に開催いたしました理事会において、「令和2年度江別市学校給食費について」を審議いただき、給食費の改定が必要との結論に至りました。それを受けて、事務局から「令和2年度江別市学校給食費単価の改定案」を提示させていただいたところであります。

改定案につきましては、一度持ち帰りの上各自ご検討いただいたと思いますので、本日の理事会でのご審議よろしくお願いいたします。

なお、学校給食会理事会は、会則第9条第2項において、理事の過半数の出席をもって成立することとなっております。

現時点で、11名のうち、10名の出席がありますので、理事会が成立しておりますことをご報告いたします。

【資料確認】

次に、資料の確認ですが、本日お配りしております資料は、

- ・ 本日の次第
 - ・ 議案第1号 令和2年度江別市学校給食費単価の改定について
- となっております。

事前にお配りしております資料は、

- ・ 【別紙1】石狩管内地元産主要野菜利用率
- ・ 【別紙2】給食費改定状況（北海道内人口5万人以上の市）
- ・ 【別紙3】残食率の推移（平成25年度-平成30年度）

また、前回の理事会で使用しました

- ・ 議案第1号 令和2年度の江別市学校給食費について
 - ・ 議案第1号（追加資料）令和2年度江別市学校給食費単価の改定案について
 - ・ 【別紙1】平成26年度から令和元年度の増減率
 - ・ 【別紙2】平成26年度から令和元年度の給食費年度別推移
 - ・ 参考として、北海道新聞の記事をコピーしたものと
- となっております。

不足等ございましたら、事務局にお申し出ください。

【開 会】

○司会：鈴木事務局長

それでは、ただいまより、令和元年度 第3回 江別市学校給食会理事会を開会いたします。
開会にあたりまして、中村理事長より挨拶を申し上げます。

【中村理事長挨拶】

みなさんこんにちは。

前回の理事会の中で、給食費の値上げもやむなしとの結論にいたりしました。

本日はそれを受けまして、具体的にいくら上げるかを審議いたします。

皆さんに審議していただき、決めていきたいと思っております。

よろしくお願いいたします。

○司会：鈴木事務局長

中村理事長、ありがとうございました。

続きまして、議事に入る前に、江別市学校給食会理事会の公開につきましてご説明いたします。

江別市では、江別市情報公開条例第20条の規定により、市民の市政への参画を促進するとともに、公正で透明な市政を推進するために、関連する審議会等は支障のない限り公開を原則としており、この理事会でも傍聴を認めております。

また、会議の議事概要として、発言内容を発言者の氏名とともに市のホームページ等で公開いたしますので、ご了承いただきたいと思います。

本日は、1人の傍聴希望者が待機しております。入場いただいて、これ以降の議事を傍聴していただくよう考えておりますが、よろしいでしょうか。

(各理事)
(了)

○司会：鈴木事務局長
それでは、傍聴者の方に入室していただきます。

(傍聴者入室、着席)

傍聴者の方に申し上げます。

会議の開催中は、静穏に傍聴することとし、拍手その他の方法により賛成、反対の意向を表明するような行為はご遠慮いただいておりますので、ご協力の程をよろしくお願いいたします。

司会：鈴木事務局長
それでは、次第の3、議事に入りたいと思います。
これ以降の議事の進行につきましては、中村理事長、よろしくお願いいたします。

【議 事】

(中村理事長)

議案第1号 「令和2年度江別市学校給食費単価の改定について」を事務局から、説明願います。

(鈴木事務局長)

それでは、事務局から、令和2年度江別市学校給食費単価の改定についてご説明いたします。

お配りしました、議案第1号追加資料「令和2年度江別市学校給食費単価の改定について」をご覧ください。

●第2回学校給食会理事会審議結果についての振り返り

まず、10月24日に開催しました第2回理事会の審議結果について、簡単に振り返らせていただきます。

「主食費・牛乳費の状況」として、給食単価の前回の改定年次である平成26年度と比べると、小麦粉は、強力粉、普通粉ともに1kgあたり約10%以上、精米の単価は、平成27年度から4年間で1kgあたり約20.70%と大きく上昇しており、牛乳単価は4年間（1個200ccあたり）で8.59%上昇していることを説明し、「副食費の状況」として、主食費・牛乳費の上昇分を吸収するために毎年副食費を減額していることと、食材費の上昇により、栄養士が副食の献立作成に大変苦労していると説明いたしました。

さらに、食材費の上昇等により、文部科学省で定められた学校給食摂取基準の栄養量の確保も限界になりつつあることから、給食費の改定も含めた来年度の給食費について、審議をお願いいたしました。

理事のみなさまからは、「色々な食材が高くなっていることから、保護者のみなさまにも費用に関しても考えていただくことが必要になる。」「副食の食材自体が値上がりしている状況では、値上げは仕方ないのではないか。」「給食は美味しく食べることが重要であり、今回の値上げの措置はやむを得ないと感じる。」といったご意見が上がりました。また、「給食費の改定により給食費の未納が増えるのではないか」とのご質問があり、「直近の平成26年度の給食費改定後の収納状況を参考にすると、改定が収納率に影響を及ぼすことはほとんどないと考えている。」と答えています。

これらを踏まえ、令和2年度の学校給食費については、単価を改定することで理事の皆さまの意見が一致いたしました。

続いて、給食費単価の改定案についてですが、主食費・牛乳費については単価の上昇分が、毎年反映されていることから、令和2年度は令和元年度の単価とすること。副食費については、平成26年度と令和元年度に共通している品目である野菜、肉、加工品計82品目の契約金額、増減率、それらの令和元年4月から8月までの構成比を算定し、それぞれの増減率と構成比の加重平均が6.96%になることから、その数値を平成26年度の単価に乗じた金額を来年度の副食費としたいとの事務局案について説明。改定後の給食の一食単価としては、小学校が21円の増加、中学校が24円の増加となると説明いたしました。

この説明に対し、理事のみなさまからの「ある程度先を見据え、少し余裕を持った上げ方をした方がいいのでは。」というご質問に、「今回の改定については、平成26年当時への回復と考えている。」と説明いたしました。また、「給食費の改定については、保護者へのわかりやすい説明が必要。」とのご意見をいただきました。

これらのご意見等を踏まえて、資料を持ち帰っていただき、次回の理事会において最終的な改定額を審議することとなりました。

●事前配付資料の説明

ここで、今回事前に送付させていただいた資料についてご説明いたします。

別紙1は、石狩管内地元産主要野菜使用量比較です。これは、じゃがいも、玉ねぎ、大根、人参など、11品目の総購入量、地元産使用料、地元産使用比率の比較となっております。

平成29年度をご覧ください。江別市は43.69%となっており、次に使用比率の高い新篠津村が25.98%、その次が石狩市の21.58%であることから、江別市の使用比率が非常に高いことが分かります。

次の別紙2は、北海道内人口5万人以上の市の給食費の改定状況で、各市の給食費の改定年度、改定額、改定率を記載しており、平成25年度から26年度にかけて消費税の改定に伴い給食費を改定している市が多いことがわかります。

次の別紙3は、給食残食率の推移です。平成25年度から5年間は概ね18%から19%台で推移していることがわかります。

●令和2年度江別市学校給食費単価の改定について

次に、本日配布いたしました「令和2年度江別市学校給食費単価の改定について」ご説明いたします。

1の「給食費改定の経緯」ですが、平成26年度以降、給食の一食単価を据え置くために副食に係る食材費を切り詰めることで対応してきましたが、その努力もすでに限界になりつつあることから、令和元年10月24日に開催された第2回江別市学校給食会理事会において審議の上、来年度給食費単価を改定することになり、事務局から改定案を提出いたしました。

次に、2の「給食費改定額の試算」ですが、改定後の主食費、牛乳費は、令和元年度単価を前提として試算いたします。副食費については、野菜16品目、肉4品目、加工品62品目の計82品目について、平成26年度と令和元年度の増減率を算定したところ、6.96%となることから、平成26年度の副食費の単価に6.96%を上乗せした金額といたします。

次に、3の「改定後の給食単価」ですが、小学校低学年が、268円から21円増の289円、中学年が、271円から21円増の292円、高学年が、274円から21円増の295円、中学校が、327円から24円増の351円としたいと考えています。

年間食数を204食として計算しましたところ、1か月の給食費の負担額としましては、小学校は357円の増加、中学校は408円の増となり、12か月では、小学校は4,284円の増、中学校は4,896円の増となります。

説明は以上です。

(中村理事長)

事務局から説明がありましたが、質疑をいただいて審議を進めていきたいと思えます。いかがですか。

(波津理事)

値上げの金額についてですが、平成26年度から令和元年度までの副食費の比率を回復するとありましたが、主食の主な材料である小麦粉、精米にかかる費用のほか、牛乳費も年々増加していますが、次年度以降それらがどうなるかということも加味した値上げなのかを確認したい。

(鈴木事務局長)

牛乳費についてはまだ情報がありません。来年になり北海道農政部が入札を行い、そこで金額が決定されます。

次に小麦粉と精米の来年度の単価についてですが、北海道学校給食研究協議会から令和元年11月12日付で情報提供がありました。

精米価格は1kgで309円から314円になり1.62%の上昇、小麦粉は強力粉で186円から182円と4円の値下がりで▲2.15%となります。普通粉は153円から149円と、こちらも4円の値下がりで▲2.62%ということです。しかし、パン、米飯全体としては、基準パン45gで2.46%の上昇、米飯80gで2.99%の上昇ということです。

これらを踏まえての改定案かのご質問ですが、今回はあくまでも副食費を平成26年の水準に戻し、原料費の上昇率を乗じて算定しております。

来年以降も材料費や主食費が上昇することも考えられますが、今後については事務局で毎年検証し、乖離が発生した場合は、改めて理事会に報告させていただきたいと考えます。

(中村理事長)

よろしいでしょうか。
他にいかがですか。

(萬副理事長)

今のことに関連して、江別市では前回平成26年に改定していますが、その際の改定の考え方と今回の改定との考え方の違いがあれば説明していただきたい。

(鈴木事務局長)

前回平成26年度の改定の考え方は、平成26年度に消費税率が5%から8%に上昇し、その分を給食費単価に上乘せし、主食費や牛乳費は据え置き、副食費の占める割合を前回改定年次である平成22年度に遡って戻すという考えかたをしております。副食費については今回と同じく毎年下がっており、その部分を回復するという考え方は同じです。そこに今回は食材費の上昇分を上乘せしておりますが、前回はその考え方は盛り込まれておりません。

(萬副理事長)

改定年次以降の物価上昇を推測して加味することはしていないのですね。

あくまでも平成26年度の基準で見直し、それ以降の上昇分は何とか耐えて耐え切れなくなったら次の改定になるということによろしいですか。

(鈴木事務局長)

副理事長のおっしゃるとおりです。

(中村理事長)

今回の改定額は将来を見越した形で上げるのではないという説明です。

過去のデータから算出したということで、その根拠についても教えていただきたい。

(鈴木事務局長)

前回もご説明しましたが、肉、野菜、加工品計82品目の単価の上昇率を算定し6.96%という数字を出しております。総務省の消費者物価指数によると、食料品全体から生鮮食品を除いた食料品の上昇率を計算した場合、2014年の平均から2019年の9月までの上昇率は6.86%になりますので、概ね符合すると考えております。

(中村理事長)

他にありませんか。

私からよろしいですか。

江別市は地産地消を進めています。使用率が近隣の市町村よりかなり高く、新篠津や当別など農村部に比べても江別市が高いのは何か給食に対しての考え方の違いがあるのでしょうか。分かっている範囲で教えていただきたい。

(鈴木事務局長)

新篠津村は、米の作付けが多くを占めており、他の作物の種類が少ないということから、このような形だと聞いております。他の地域についての地産地消の取り組みは、江別と同様に地場産野菜の使用を進めていると聞いております。

江別市は様々な農作物を生産されている農家が多く、過去から給食センターの取り組みとして、地場産野菜の使用を生産者と連携を取りながら進めてきたことが、このような数値に繋がっていると思われまます。

(中村理事長)

江別の場合は、地産地消のバックボーンが確保されているという中で進めてきたということですね。無理して地産地消を進めてきたわけではないということですね。

(鈴木事務局長)

給食センターと生産者は連携が取れており、しっかりした納入ルートが確立されております。

地場産食材を担当している対雁調理場長から補足いたします。

(佐藤事務局員：対雁調理場長)

地産地消に対しては江別の生産者、納入者の意識が高いと感じられます。

他の市町村の状況はわかりませんが、江別市はかなり早い時期から地場産野菜の使用の取り組みを進めており、そのようなことからこのような結果に繋がっていると考えられます。

(中村理事長)

地産地消ということで地元のものを使うようになったのは最近だと思います。昔はすべて給食会が一括で用意したものを使用していましたが、地場産のものを使うことが各地に広がり、子どもたちと給食の食材の生産者について話すことができるようになりました。江別市も、もう少し生産者の顔が子どもたちに見えるような形で提供すると、市民の理解がさらに得られると思います。

給食についてはもっと宣伝しても良いと感じています。

(鈴木事務局長)

地場産野菜の利用比率をただ高くするだけではなく、これからはさらに質の高い給食を提供できるよう、生産者の顔が見えるような仕掛を行うことが必要であると考えます。来年度以降の取り組みに繋がられればと思います。

(中村理事長)

よろしくをお願いします。

いかがでしょうか、他にありませんか。

どんなことでもかまいません。

質問はありませんか。

(伊藤(篤)理事)

少し値上がりして、江別の子どもたちが江別産の野菜を使った美味しい給食を食べられる工夫を聞かせていただきました。今回の改定は保護者の皆さんにも理解が得られ、今後も美味しい給食を子どもたちに提供していけるだろうと思います。

(中村理事長)

他にいかがでしょうか。

質疑がなければ議案の審議に移ってよろしいですか。

議案第1号「令和2年度江別市学校給食費単価の改定について」ですが、いかがでしょうか。

案のとおり改定してよろしいですか。

(全理事)

(異議なし)

(中村理事長)

皆さんから了承が得られました。

それでは、「令和2年度の江別市学校給食費単価について」は、事務局案で改定するという事で決定いたします。

事務局から引き続き、何かありませんか。

(鈴木事務局長)

2回に渡ってのご審議ありがとうございました。

それでは、令和2年度の江別市学校給食費単価は、小学校低学年が268円から21円増の289円、中学年が271円から21円増の292円、高学年が274円から21円増の295円、中学校が327円から24円増の351円に改定したいと思います。

今後のスケジュールですが、令和元年11月26日に開催予定の「第11回定例教育委員会」において、報告する予定となっております。

(中村理事長)

みなさん今の説明で質問等はありませんか。

その他、事務局から何かありますか。

(鈴木事務局長)

次回の理事会の開催予定ですが、

「令和元年度江別市学校給食会計決算見込について、令和2年度江別市学校給食会事業計画(案)、令和2年度江別市学校給食会運営事務会計予算(案)等」をご審議いただくため、令和2年3月下旬に理事会を開催したいと考えております。

近くなりましたら、ご案内させていただきますのでよろしくお願いいたします。

(中村理事長)

それではこれで、令和元年度第3回江別市学校給食会理事会を終わります。

理事の皆様、大変お疲れさまでした。

(16:34散会)